

令和6年度公益財団法人ふくしま海洋科学館事業報告書

【事業総括】

令和4年度に策定した運営目標「子どもたちの未来を開く水族館」「唯一無二の水族館」「地域と共に歩む水族館」の実現に向けて、現場の声を大切にしたボトムアップ型の組織運営を推進してきました。これにより、職員一人ひとりの意見が施設運営に反映される環境づくりに努めてまいりました。

令和6年4月1日には、アクアマリンふくしまが正式に登録博物館として認定されました。これに伴い、いなわしろカワセミ水族館を含む全施設において、博物館法で定められた「調査」「研究」「展示」「教育普及」「デジタルアーカイブ」などの各業務を一層充実させ、社会教育施設としての役割と責任を果たすことに力を注いでいます。

また、世界動物園水族館協会(WAZA)および日本動物園水族館協会(JAZA)の会員として、生物多様性や自然環境の保全に関する取り組みにも積極的に取り組みました。その一環として、アクアマリンふくしま独自の保全戦略「マスタープラン」を新たに策定し、将来に向けた明確な方向性を示しました。

アクアマリンふくしまでは、年度後半から開館25周年事業として「わくわく里山・縄文の里」のリニューアル工事が始まり、令和5年度に東日本大震災後初めて入館者数が60万人を超えた実績と比較して、入館者数の減少が懸念されていましたが、夏休みに向けて開催した企画展「旅する深海魚～どこで生まれて、どこで育つのか～」が好評を博し、夏休み期間中の来館者数が大幅に増加しました。また、9月以降に三連休が多かったことも後押しとなり、最終的には令和5年度を上回る622,746名(前年度比101.9%)の入館者数を記録することができました。

いなわしろカワセミ水族館においては、アカシヨウビンの保護個体を展示するなど福島県内の希少生物の展示を推進するとともに、年間4回の企画展を開催し、話題性のある展示にも力を入れました。しかし、旅行ニーズの多様化や人気観光地に集中、さらには本年2月の豪雪による臨時休館の影響もあり、入館者数は72,188名(前年度比93.6%)と、令和5年度を下回る結果となりました。

【事業内容】

I 公益目的事業

1 調査収集事業

生物収集事業

展示生物(水生生物、陸上小動物及び植物)採集、購入、輸送

- ① 淡水生物採集
県内淡水生物採集及び購入
- ② 沿岸生物採集
福島県水産海洋研究センター調査船乗採集
福島県松川浦採集・小名浜サンマリーナ アマモ、ギンポ類他を採集
- ③ 北方系生物採集
オオメンダコ等の冷水系生物を採集、輸送
- ④ 南方系生物採集
マイワシ、バシヨウカジキを採集
キハダ、カツオを蓄養・輸送・搬入(奄美)
- ⑤ サンゴ礁、マングローブ生物収集
- ⑥ チョウチョウウオ類他熱帯性海水魚を採集、輸送
- ⑦ 新江ノ島水族館よりヌタウナギ他を搬入、ナメダンゴ他を搬出
- ⑧ 盛岡市動物公園にハタネズミを搬出、ホンシュウモモンガを搬出
- ⑨ 浅虫水族館よりゴマフアザラシを搬入
- ⑩ 葛西臨海水族園よりウミガラスを搬入
- ⑪ 東海大学海洋科学博物館より南方系海水魚を搬入

2 展示企画事業

(1) 飼育生物管理事業

本館、えっぐ、水生生物保全センター、屋外施設の動植物展示及び飼育管理

(2) 展示事業

水槽展示及び生物の飼育状況

令和6年度末時点での展示は以下のとおり。

- ① 水槽数

本館	119槽
BIOBIOかっぱの里	1槽
蛇の目ビーチ	1槽
子供体験館「アクアマリンえっぐ」釣堀	1槽
水生生物保全センター	15槽
クウェート・ふくしま友好記念日本庭園	2槽
わくわく里山縄文の里・金魚館	13槽
合計	152槽
- 獣舎、鳥舎

子供体験館「アクアマリンえっぐ」	2舎
どうぶつごっこ	5舎
わくわく里山縄文の里	4舎
合計	11舎

② 生物の飼育状況

哺乳類	14種	57点
鳥類	8種	28点
爬虫類	5種	8点
両生類	6種	165点
魚類	462種	44, 402点
昆虫	9種	65点
無脊椎	311種	14, 212点
植物	500種	約20, 000点
合計	1, 315種	78, 937点

3 研究開発事業

(1) 水生生物保全センター(串本分館)管理事業

蛇の目ビーチと釣り堀に、イサキ、メジナ等の搬入を行った。

(2) 研究開発交流事業

①バショウカジキ、冷水系生物、深海性生物、魚卵採集などの研究・新規展示開発23題を実施した。

②「飼育員の研究レポート」で年3回の内容更新を行った。

③学術論文

○発表

- ・「チゴダラの卵形成過程と産卵様式の解明」：魚類学会口頭発表
- ・「飼育下におけるザラカスベの孵化と成長」：魚類学会口頭発表
- ・「水族館職員が語る深海調査と深海生物」：マリニアピア日本海企画展講演
- ・「ポリエチレングリコール浸透法を用いた色彩保存標本」甲殻類学会口頭発表
- ・「北海道羅臼沖深海性タラバエビ科5種の成長と性転換」：甲殻類学会ポスター発表
- ・「オオメンダコの長期飼育環境と水槽内で観察された多様な行動様式」：全国水族館技術者研究会口頭発表
- ・「飼育下クラカケアザラシの鳴音と行動」：海獣技術者研究会口頭発表
- ・「Development and genomics of Pacific saury *Cololabis saira*」(サンマの初期発生と比較ゲノム解析)：日本分子生物学会ポスター発表
- ・「Development and genomics of Pacific saury *Cololabis saira*」(サンマの初期発生と比較ゲノム解析)：IZFC(国際ゼブラフィッシュ会議)国際会議ポスター発表

○投稿

- ・「A New Species of Hydrozoan Jellyfish *Eutima onahamaensis* and New Record of *Eutima diademata*(Hydrozoa, Leptothecata) from Japan」(日本産の新種 *Eutima onahamaensis* (ジャンガラコノハクラゲ) と日本初記録種の *Eutima diademata* (エナガコノハクラゲ) : Hydrobiology
- ・「Pseudarchasteridae (Asteroidea: Paxillosida) in Japanese waters, with Description of a new species and range extension of three species」(日本近海から発見されたモミジヒトデ科の新種および3種の新産地記録) : Journal of

Natural History

- ・「Snailfishes of the genus *Careproctus* (Perciformes: Liparidae) with a reduced pelvic disk: three new species and new records from the western North Pacific with comments on their phenotypic diversity」(腹吸盤が退化したコンニャクウオ属: 3種の新種と北太平洋西部からの新記録種、そして表現型の多様性に関するコメント): ZOOTAXA
- ・「相模湾三崎沖からドレッジにより採集された十脚目甲殻類」: 甲殻類学会誌
- ・「*Mimastrella komkom*, a new species of Astropectinidae (Asteroidea: Paxillosida) from Northern Japan」(北半球から初発見されたシアワセモミジガイ属の新種): Journal of natural History

4 国際連携交流事業

IAC メキシコ大会にオンラインで出席を行った。

インドネシアシーワールドとミズダコの生物交換等を実施した。

アメリカ合衆国に職員を派遣し、モンレーベイ水族館の深海生物の視察や同研究所の調査方法の聞き取り、その他近隣園館の視察を行った。

5 企画営業事業

(1) イベント等開催事業

館内外における季節演出および催事等の実施

① スプリングフェスティバル

フラワーアクアリウム、春爛漫プレゼントなど

開催期間: 3月16日(土)~4月7日(日)

② 蛇の目ビーチ生き物放流会

開催日: 4月20日(土)

③ GW イベント

企画展「絵本すいぞくかん」フィナーレイベント、蛇の目ビーチ生き物放流会、蛇の目ビーチ宝探し、企画展「絵本すいぞくかん」フィナーレ

開催期間: 4月13日(土)~5月6日(月・振休)

④ アクアマリン真夏の涼感イベント

企画展「旅する深海魚」関連や涼をテーマとしたイベントを開催した。

七夕まつり、深海魚ちょうちん作り、深海標本露店、深海魚釣りゲーム、深海迷路、深海魚卵の冒険、真夏の涼感バックヤードツアー、風鈴回廊、アクアマリンスプラッシュ! など

開催期間: 6月29日(土)~8月25日(日)

⑤ めざせ、最高ディープレベル! 旅する深海魚クイズ大会

開催期間: 9月15日(日)~16日(月・祝)

- ⑥ 小西貴士写真展～チキュウニ ウマレテキタ～
開催期間：9月14日（土）～10月27日（日）
- ⑦ こども海の日
10月12日（土）～14日（月・祝）に開催した「海辺の環境教育フォーラム」参加者が、当館来館者向けに自然体験プログラム実施。
開催日：10月14日（月・祝）
- ⑧ トークイベント 魚屋さんの深海魚 新潟の魚 VS いわきの魚
講演・協力 新潟市水族館マリニピア日本海、いわき魚塾
開催日：10月26日（土）
- ⑨ トークショー 深海をのぞけ！ROVで撮影した深海生物！
協力 黒潮生物研究所
開催日：11月2日（土）
- ⑩ 最高だっぺよ！トラフグ試食会
新たな常磐ものとして話題のトラフグの生態や調理方法を紹介。
開催日：11月24日（日）
- ⑪ 小名浜国際環境芸術祭2024
小名浜国際環境芸術祭は、2003年に開催されてから21回目を迎えた。
「常磐もの」をテーマに様々な芸術作品を展示した。
- 第16回小名浜国際大漁旗アート展入賞作品展
開催期間：9月21日（土）～11月10日（日）
- 常磐ものアートTシャツ展
開催期間：9月21日（土）～11月10日（日）
- 「豊かな漁場からの贈り物～常磐もの」@シーボーンアート展
開催期間：9月22日（日）～11月12日（火）
- 第19回アクアマリンふくしま俳句の季（とき）コンテスト
開催期間：10月12日（土）～11月4日（月・祝）
- キッズアート展「身近な自然を発見 夏休みの自然観察絵はがき」
開催期間：9月21日（土）～11月4日（月・祝）
- 第48回福島県児童・生徒木工工作コンクール作品展
主催：福島県木材青壮年協会、福島県木材協同組合連合会、福島民報社
開催期間：9月23日（土・祝）～10月1日（日）
- 海の男の盆栽展
協力：小名浜盆栽研究会
開催期間：11月1日（金）～11月7日（木）
- 第52回我ら海の子展（巡回絵画展）
主催：（一財）サークルクラブ協会・（公社）日本海洋少年団連盟

○金魚まつり

開催期間：9月21日(土)、22日(日)

○第49回福島県児童・生徒木工工作コンクール作品展

開催期間：9月16日(月)～9月29日(日)

⑫ アクアマリンミステリークリスマス

深海ツリー、深海ミステリーイルミネーション、深海クリスマスマーケット、深海ミステリー迷路、N響 大水槽前ミニコンサート、限定グルメ販売

開催期間：11月23日(土・祝)～12月25日(水)

⑬ 開運深海お正月

干支の生き物展 巳年、開運！？深海迷路、運だめし！深海魚・卵の冒険 おみくじバージョン、開運深海釣りゲーム

開催期間：12月28日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

⑭ アクアマリンのひな祭り

協力：ちりめん細工教室「ままや」 ちりめん細工体験教室も開催

開催期間：令和7年2月14日(金)～3月3日(月)

⑮ びっくり仰天！クイズで学ぶ魚のふしぎな行動

講演者：北里大学 海洋生命科学部助教 福田 和也氏、群馬大学 共同教育学部 准教授 佐藤 綾氏、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 主任研究員 澤田 紘太氏

開催日：令和7年2月22日(土)

⑯ エビ釣り体験

エビ釣りに挑戦しながらバナメイエビのからだのつくりや環境問題についても学ぶ体験プログラム

開催期間：令和7年2月22日(土)～2月24日(月・振休)

⑰ 花よりナメダンゴ

花とナメダンゴの展示(フォトスポット)、ナメダンゴのお部屋(休憩スペース)、ナメダンゴの冒険(ボードゲーム)、スイーツ販売、桜金魚の展示

開催期間：令和7年3月22日(土)～5月6日(火・振休)

(2) 広報宣伝事業

県内外に当館の魅力を一層アピールしながらイベント開催告知、誘客促進を行うとともに、首都圏も含め各種媒体で積極的な広報宣伝活動を展開し、パブリシティによる紹介の増加を図った。

① 各種媒体等を活用した広報

ア テレビ(CM放送)

GW向け : 県内4局

夏向け : 県内4局、宮城4局

春休み向け : 県内3局、宮城3局

イ 新聞

地元3紙へGW、秋、クリスマス、正月、2月連休、春等の観光シーズンに広告掲載。

ウ 雑誌・フリーペーパー等広告

企画展およびイベントの告知のため情報及び広告掲載

エ 看板

福島空港に広報看板掲出、辰巳町交差点に看板掲出

オ Web

SNSを活用した情報発信

SNS広告出稿：Instagram・Facebook（通年）、YouTube（3月）

SNS向け動画制作

インフルエンサー招聘

カ その他

テレビ番組、Webメディアへの情報、素材提供

福島県広報枠を活用した広報（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、SNS、都営地下鉄中づり、駅貼りポスター掲出）

春休みにいわき市、郡山市、福島市、日立市周辺へ新聞折り込みを実施

② ポスター・パンフレット等の作成・活用

ア 館内案内リーフレット

・館内案内リーフレットを来館者に配布

・県内外観光施設、旅行エージェント、公共施設等に配布

イ イベントチラシ・ポスター

・企画展「旅する深海魚～どこで生まれどこで育つのか～」の開催、GW、夏、秋、クリスマス、正月、春のイベント開催に合わせ、チラシ、ポスターを作成、県内外の公共施設、観光施設、幼稚園・保育園、小学校等に配布、掲出

ウ イメージポスター

・通年で掲出できるファミリー向けと大人向けのポスターを制作。配布

③ 広報イベントの実施

広報を目的としたイベントの実施

ア アクアマリンふくしま流行魚大賞2024

その年アクアマリンふくしまの公式SNS（Instagram）で話題になった生き物をノミネートし、最も話題性の高い生き物を決めるイベント。2024年の対象はオオグチボヤが選ばれた。

投票期間：11月2日（土）～11月17日（日）

結果発表：11月29日（金）

大賞ステッカープレゼント：12月15日（日）

イ 入館者1700万人達成記念セレモニー

令和7年2月11日（火）に、累計入館者数1700万人目の来館者をお迎えした記念セレモニーを開催

(3) 観光誘致事業

① 地元旅館ホテル等の販売実績

ア 契約宿泊施設等宿泊者限定チケット(地域連携チケット)

- ・いわき市周辺の契約宿泊施設等限定の入館券を販売
- ・契約宿泊施設等・・・13か所 (2組合、1グループ、10施設)

一般	24,226枚	(令和5年度対比	105.0%	1,161枚増)
小～高	7,416枚	(令和5年度対比	110.1%	683枚増)
計	31,642枚	(令和5年度対比	106.2%	1,844枚増)

イ 入館前売券販売

一般	6,401枚	(令和5年度対比	91.6%	590枚減)
小～高	2,037枚	(令和5年度対比	103.2%	64枚増)
計	8,438枚	(令和5年度対比	94.1%	526枚減)

② 有料入館者実績

ア 個人(通常料金)

一般	182,692人	(令和5年度対比	101.9%	3,331人増)
小～高	45,931人	(令和5年度対比	106.7%	2,867人増)
計	228,623人	(令和5年度対比	102.8%	6,198人増)

イ 団体(団体料金)

件数	555件	(令和5年度対比	89.5%	65件減)
一般	11,222人	(令和5年度対比	97.4%	299人減)
小～高	2,566人	(令和5年度対比	107.0%	168人増)
計	13,788人	(令和5年度対比	99.0%	131人減)

ウ 契約宿泊施設等宿泊者限定チケット(地域連携チケット)

一般	24,092人	(令和5年度対比	108.1%	1,798人増)
小～高	7,250人	(令和5年度対比	109.9%	652人増)
計	31,342人	(令和5年度対比	108.5%	2,450人増)

エ 前売券

一般	56,079人	(令和5年度対比	89.7%	6,469人減)
小～高	17,716人	(令和5年度対比	91.3%	1,680人減)
計	73,795人	(令和5年度対比	90.1%	8,149人減)

オ 年間パスポート

一般	37,979人	(令和5年度対比	97.6%	948人減)
小～高	8,652人	(令和5年度対比	101.5%	125人増)
計	46,631人	(令和5年度対比	98.3%	823人減)

カ 年間パスポートの提示割引

- ・当館の年間パスポートの提示で割引

(1枚の提示で5名まで 一般200円引 小～高100円引)

一般	2,784人	(令和5年度対比	95.7%	125人減)
小～高	773人	(令和5年度対比	96.5%	28人減)
計	3,557人	(令和5年度対比	95.9%	153人減)

キ 障がい者

一般	19,706人	(令和5年度対比	154.2%	6,926人増)
小～高	3,457人	(令和5年度対比	133.1%	860人増)
計	23,163人	(令和5年度対比	150.6%	7,786人増)

③ 減免入館実績

ア 学校団体

件数 512件 (令和5年度対比 94.8% 28件減)
人数 27,533人 (令和5年度対比 94.1% 1,719人減)

イ 幼稚園又は保育園団体

件数 156件 (令和5年度対比 81.7% 35件減)
人数 1,092人 (令和5年度対比 99.5% 5人減)

※人数には、園児の数は含まない。

ウ 市町村主催団体

件数 13件 (令和5年度対比 68.4% 6人減)
人数 412人 (令和5年度対比 69.9% 177人減)

エ 財団主催団体

件数 0件 (令和5年度対比 0% 0件減)
人数 0人 (令和5年度対比 0% 0人減)

④ コンビニチケット

一般 12,206人 (令和5年度対比 58.3% 8,740人減)
小～高 2,381人 (令和5年度対比 39.7% 3,623人減)
計 14,587人 (令和5年度対比 54.1% 12,363人減)

ア 通常チケット

一般 3,736人 (令和5年度対比 28.6% 9,330人減)
小～高 2,381人 (令和5年度対比 39.7% 3,623人減)
計 6,117人 (令和5年度対比 32.1% 12,953人減)

イ ラブカップルチケット

(一般2人分のペアチケット 3,500円 期間限定販売)

ペア券 4,235枚 (令和5年度対比 107.5% 295枚増)
人数 8,470人 (令和5年度対比 107.5% 590人増)

⑤ 助成券利用実績

・助成券全体の入館者数 1,124人 (令和5年度対比 95.2% 57人減)

ア 福島県職員助成券

一般 309人 (令和5年度対比 104.4% 13人増)
小～高 35人 (令和5年度対比 94.6% 2人減)
計 344人 (令和5年度対比 103.3% 11人増)

イ 福島県教職員助成券

一般 341人 (令和5年度対比 90.7% 35人減)
小～高 119人 (令和5年度対比 79.9% 30人減)
計 460人 (令和5年度対比 87.6% 65人減)

ウ 私学職員助成券

一般 227人 (令和5年度対比 104.1% 9人増)
小～高 86人 (令和5年度対比 94.5% 5人減)
計 313人 (令和5年度対比 101.3% 4人増)

エ 山形利用補助券

一般 6人 (令和5年度対比 75.0% 2人減)
小～高 1人 (令和5年度対比 16.7% 5人減)
計 7人 (令和5年度対比 50.0% 7人減)

⑥ 電子チケット

一般	24,607人	(令和5年度対比 74.6%)	8,365人減)
小～高	8,264人	(令和5年度対比 75.7%)	2,657人減)
計	32,781人	(令和5年度対比 74.9%)	11,022人減)

(4) 地域交流事業

積極的に周辺地域と交流を深め地域振興に貢献した。

- ① 小名浜まちづくり市民会議へ参画
会員として会議やイベントに積極的に参画
- ② 小名浜港まつりへの協賛
協賛を行うとともに、館内外における花火大会の観覧に貢献した。
- ③ ばんえつ発見の旅サポート連携事業
・磐越道沿線の12文化施設と東日本高速道路株式会社及び一般社団法人日本自動車連盟(JAF)新潟支部が参加し、6月8・9日に新潟市において合同イベントを開催した。
- ④ いわき ら・ら・ミュウ、イオンモール、イオンスタイルとの連携
・毎月1回、上記担当者との協議会を開催
- ⑤ 委託販売(いわき ら・ら・ミュウ)
・入館前売券を、いわき ら・ら・ミュウ内インフォメーションにて委託販売
一般 918枚 (令和5年度対比 104.0% 35枚増)
小～高 225枚 (令和5年度対比 132.4% 55枚増)
計 1,143枚 (令和5年度対比 108.5% 90枚増)
- ⑥ 近隣動物園・水族館との連携
栃木・茨城・群馬・福島動物園・水族館との連携事業「ファイト10」
として、年パス相互割引やホームページ制作、SNSイベントを実施
- ⑦ 公共施設との連携
・いわきアリオス NHK交響楽団によるミニコンサート 12月22日(日)
- ⑧ その他連携事業
ア イベント・展示
・小名浜税関支署 税関展 5月18日(土)
・一般社団法人ふくしま海と緑のプロジェクト 日本財団「海と日本 PROJECT in ふくしま」オリジナルイベント 7月31日(水)
・江名シングルアップP 風鈴展示 8月11日(日・祝)～25日(日)
・いわき海の俳句全国大会実行委員会 第9回いわき海の俳句全国大会 8月25日(日)
・天然記念物柴犬保存会令和6年度秋季・第128回本部展 10月6日(日)
・海辺の環境教育フォーラム2024inふくしま 10月12日(土)～14(月・祝)
・磐越東線利活用促進事業 磐越東線風っこ号で行くアクアマリンふくしまの旅 12月28日(土)
・パルシステム生活協同組合連合会 水族館から海の環境といのちについて考えよう 令和7年3月1日(土)

6 入館者管理事業

入館者サービスの向上事業

接客や案内誘導等の業務委託、年間パスポート販売等（来館者サービスの向上）

- ① 券売・受付業務委託
券売・改札業務（専門業者委託で接客の質向上）
- ② 年間パスポート販売
 - ・入館者数の増加を目的に販売
 - ・通常販売、福島県子育て応援パスポート事業（協賛）の割引販売やプレゼント等の実施
 - ・販売実績

一般	5,545枚	（令和5年度対比	96.3%	215枚減）
小～高	1,578枚	（令和5年度対比	102.5%	39枚増）
計	7,123枚	（令和5年度対比	97.6%	176枚減）

- ③ 開館時間の延長
誘客促進と来館者の満足向上を図るため、大型連休の5月3日（金・祝）～5日（日・祝）、いわき花火大会開催時8月3日（土）及びお盆休み期間8月1日（日）～14日（水）、開館時間を延長し営業を実施

7 企画展開催事業

魅力ある展示を維持するため、展示品、種名板、情報ソフト等の更新を随時行い、図書や映像ソフト等の充実にも努めた。

- ① 企画展「えほん水族館～アクアマリンふくしま×スイミー」
開催期間：令和4年7月15日（金）～令和6年5月6日（月・振休）
開催場所：マリンホール、エントランスホール
絵本「スイミー」の世界をテーマとした展示。反響が大きかったため開催期間を延長した。
- ② 企画展「最高だっぺよ！常磐の肴」
開催期間：6月1日（土）～10月31日（木）
開催場所：ホワイエ
福島県の魚介類と漁師、市場で働く人々、魚料理のお店などをパネル解説と写真約100点で紹介した。
- ③ 企画展「旅する深海魚～どこで生まれてどこで育つのか～」
開催期間：令和6年7月13日（土）～令和7年2月24日（月・振休）
開催場所：マリンホール、エントランスホール
深海と浅海を生活の場とする深海魚を映像、遊具などを設置し分かりやすく紹介した。リュウグウノツカイなど、深海魚の稚魚の展示が話題を呼んだ。
- ④ 企画展「飼育員すばる君のひみつ道具」
開催期間：令和5年7月15日（土）～令和6年9月1日（日）
開催場所：子ども体験館 アクアマリンえっぐ
昨年度より継続展示し、飼育員の仕事を紹介すると共に夏休みの自由研究の需要に応えた。一部常設として継続展示。
- ⑤ オセアニック・ガレリア
メッセージ性のある以下の展示を行った。
 - ・「いわき七浜捕鯨文化」
 - ・「漁場から食卓まで」

- ・「あぶくま東縁の地質生物」
- ・「弁財天ウナギプロジェクト」
- ・「採集する。研究する。展示する。」
- ・「地球環境の保全活動」
令和7年3月20日（木・祝）より「がんばっぺ！ふくしまの常盤もの」へリニューアルした。
- ・「海にあふれるプラスチックごみ」
関連して、海岸の清掃活動を行った。

8 学習交流事業

(1) 解説事業

館内での解説活動を行ない、解説員による大水槽の生き物解説や有料のバックヤードツアー等、ボランティアによるバックヤードツアーの活動を行った。

(2) 学校教育関連事業

① ガイダンス・館内学習

来館した学校団体を対象に、施設の展示概要を紹介するガイダンスを実施した。また、来館した学校団体を対象に研修室などで授業を行った。当館の釣り堀を利用した命の教育、獣医の仕事の紹介、震災からの復興などをテーマとした学習などを実施した。（110回実施、対象者数5,886名）

② 館外学習（ゲストティーチャー）

当財団の職員を学校や施設へ派遣し、授業を行った。
（6校、対象者210名）

③ 移動水族館の実施

移動水族館専用車（アクアラバン）による生物の観察と、標本や化石などを手に取って観察をするハンズオン展示、レクチャーを行う移動水族館を実施した。（12校、対象者数944名）

④ 職場体験・インターンシップ・博物館学芸員実習、社会教育実習、社会体験研修の実施

中学校、高等学校、大学の生徒・学生、教員を対象に、業務体験をとおして職業観・労働観の習得や進路指導の一環を目的とした実習や社会体験研修を実施した。

ア 職場体験（1日間7回実施 対象者17名）

イ 大学生（社会人）の社会教育実習

（3日間2回実施 対象者数 5名）

ウ 教員の社会体験研修（1日間4回実施 対象教員数25名）

エ 学芸員実習（10日間1回実施 対象学生数 4名）

⑤ 教員セミナー、教員研修の実施

8月に2日間県内の教員を集め、古代人の生活と海や山など自然との関わりや持続可能なくらしについて講義を行う教職員セミナーを開催し、40名が参加した。

(3) 情報提供事業

① 情報コーナー

飼育職員の最新の研究成果を紹介する「飼育員の研究レポート」

② インターネットによる情報提供

ホームページを更新することにより、様々な情報提供を行った。最新生き物情報欄では生物の搬入搬出や新展示の情報を、ニュース欄では季節ごとのイベントや企画展の詳細、参加体験プログラムの募集等の情報を発信した。

また、SNSを活用して、生き物の搬入や新規展示、生き物の様子など展示生物に関する情報のほか、イベントの実施状況など、タイムリーな情報提供を毎日行った。

- ③ 機関誌の発行
水族館の活動内容をはじめ、生物や海に関する様々な情報を掲載した機関誌「AMF NEWS」を年4回発行した(発行部数 3, 500部/回)。
- ④ プレスリリース
テレビ、雑誌等の取材協力を積極的に行うとともに、年間63件の投げ込みを実施した。テレビの取材放映が約90件、新聞の掲載は約260件あった。

9 施設管理事業

(1) 工事関係

- ① 破損した展望塔ガラスの飛散防止対策を行った。
- ② 大雨時の管理棟への浸水を防止するため新たに側溝を敷設し、舗装を修繕した。
- ③ 経年劣化により故障したサービスヤードのシャッターの修繕を実施した。

(2) 省エネルギー・光熱費対策

酷暑の影響下においても電力の省力化に努め、令和6年度に対し電力使用量は約116,000kw(約2%)減の約5,864,000kwであった。

(3) その他

- ① 酸素欠乏・硫化水素危険作業に対応するため、新規採用職員に対し法令に基づき特別教育を実施した。
- ② 法令に基づき、消防設備士甲種四類免状、クレーン・デリック運転士免許、玉掛技能講習、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育、仮払い機の特別教育受講を推進した。

(4) 主要維持管理施設

主要維持管理施設は、次のとおり。

① いわき市小名浜字辰巳町地内

ア ふくしま海洋科学館

・本館等敷地面積	56,189.52	m ²
・本館延床面積	12,935.11	m ²
・水生生物保全センター延床面積	925.09	m ²
・子ども体験館「アクアマリンえっぐ」延床面積	1,266.70	m ²
・屋外トイレ面積	106.18	m ²
・温室面積	52.54	m ²
・わくわく里山・縄文の里関連施設延床面積	1,509.56	m ²

イ 駐車場関係

・施設外駐車场面積	12,093.81	m ²
-----------	-----------	----------------

② いわき市小名浜下神白字松下地内

海水取水・送水施設

・取水ポンプ棟延床面積	1棟	84.43	m ²
-------------	----	-------	----------------

- ・ろ過送水棟延床面積 1棟 180.04㎡
 - ・取水管(管径 350mm) 91.10m×2条
 - ・揚水管(管径 300/350mm) 146.00m
 - ・送水管(管径 250mm) 2,885.04m
- ③ 和歌山県串本町
水生生物保全センター分館
- ・延床面積 180.00㎡
- (5) 来館者用駐車場の確保
繁忙期に臨時駐車場を確保し、安全かつスムーズな整理誘導を行った。
駐車場は次のとおりである。
- ① 常時使用駐車場
- ・オアシス駐車場 282台(うち身障者用5台、バス15台)
 - ・公共駐車場 452台(うち身障者用17台)
- ② 臨時駐車場 977台(小名浜港湾建設事務所から随時借用する)
- * 駐車場合計 1,711台

10 カワセミ水族館事業

猪苗代町緑の村管理センター、釣堀・養魚鑑賞池、淡水魚館の3施設の総称を「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」として、福島県内及び猪苗代湖の希少淡水生物の保全をテーマに統括的な施設運営を図り、参加体験型展示を通じて環境保全及び教育普及活動に関する事業を展開した。

また、現淡水魚館内に希少淡水生物繁殖保全水槽を設置し、福島県内の希少淡水魚、は虫類、両生類、鳥類、哺乳類等の保全活動と調査研究を行い、情報発信に努めた。

(1) 施設の概要

○猪苗代町大字長田字東中丸地内

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館

猪苗代町緑の村管理センター	736.00㎡
猪苗代町緑の村釣堀、養魚鑑賞池	10,000.00㎡
猪苗代町淡水魚館	605.10㎡

(2) 展示事業

- ① 福島県の淡水生物の展示
- ② 猪苗代情報パネル展示
- ③ カワセミ、カワガラス、キセキレイ展示
- ④ 希少淡水魚繁殖保全水槽
- ⑤ 県内に生息するゲンゴロウを始めとする水生昆虫の展示水槽
- ⑥ 福島県の両生類の展示水槽
- ⑦ ユーラシアカワウソの展示
- ⑧ カワネズミの展示
- ⑨ カヤネズミ他ネズミ類4種の展示
- ⑩ 国外・国内外来種の淡水水生生物の展示
- ⑪ 金魚約30品種の展示
- ⑫ 企画展「村山嘉昭写真展川ガキ」「蠶展あなたの知らないカイコの世界」
「なまず まなまず みななまず」「金魚美術館」実施

(3) 体験プログラム

- ① 釣り体験の実施、館内観察オリエンテーリングの実施
- ② タッチング水槽
- ③ オリジナルエコバック作り、起き上がり小法師絵付け体験他ワークショップコーナーの設置
- ④ 木育キッズコーナー「森のこぼこ」

(4) 情報発信

各種展示及びホームページや Twitter 等の SNS を通じて、猪苗代湖の保全、希少淡水魚の繁殖・保全を来館者に対して情報発信した。

II 公益海洋文化学習振興事業

1 海洋文化推進事業

(1) シーラカンス調査事業

インドネシアにおいて NHK と共同調査を実施し、有人潜水艇を使ったシーラカンスの観察を行った。

ブラジル、フランス、南アフリカ、カナダからシーラカンス研究者を招いて国際シーラカンスシンポジウムを開催し、最新の研究成果の共有を行い、今後の研究体制について協議した。

(2) 海洋環境保全事業

マスコットバルーンを使用した海洋プラスチックごみ啓発プログラムを実施し、海岸での清掃活動を 6 回、館内での学習啓発イベントを 10 回実施した。

2 スクール開催事業

海の生物に親しみ、自然の事象について興味、関心を高めることを目的に、各種スクールを開催した。

(1) スクールの開催

「飼育員と学ぼう」と題して飼育員が様々なテーマでレクチャーを行なう体験プログラムを、事前募集した参加者を対象として開催した。生き物の知識を深めたり、餌やりなどで生き物に接するプログラムのほか、川や海など野外でのプログラム、館内で宿泊を伴うプログラムを実施した。

・飼育員と学ぼう : 14回 268名

(2) 缶詰づくり体験ほか

館内での体験プログラムは缶詰づくり体験、エサやり体験などを実施した

(3) 工作コーナー

自然や生き物にちなんだものをテーマとした工作体験を開催した。

深海ランタンづくり、深海うちわづくり、ハーバリウムなど

(4) 釣り体験

アクアマリンえっぐの釣り場において魚を釣って調理し、食べるという体験を提供し、子どもたちに命の教育の機会を提供した。

(参加者数 15, 467組)

3 ボランティア等活動事業

アクアマリンふくしまボランティアの会による自主的、積極的なボランティア活動を通して、来館者の学習活動を支援するとともに、多様な交流を促進し、本施設を自らの学習・実践の場として積極的に提供した。技術向上のために接遇研修や他館視察研修を実施した。

第1期～第25期ボランティア更新者	153名
第26期新規ボランティア登録者	18名
登録者数(令和7年3月31日現在)	171名

4 移動水族館事業

主催者要請に応じ、移動水族館専用車（通称：アクアラバン）を派遣し、各地域のイベントや県内外の文化施設のイベントに出展。

海の生物に親しむ機会を提供し、当館への興味、関心を高めてもらうこと（営業・PR活動・広報宣伝）と併せて、開催地の地域振興（地域交流）に貢献。

出展回数 13回（令和5年度対比 69.2% 9回減）

見学者数 23,273人（令和5年度対比 64.8% 12,665人減）

Ⅲ 収益事業

1 ミュージアムショップ運営

「アクアマリンショップ JOHMON」及び「ミュージアムショップ UMINOS」の2店舗で、アクアマリンふくしまオリジナルグッズなどの商品を販売した。

売上額 261,864,833円

（令和5年度実績263,077,994円 前年度比99.5%）

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館のショップでは、飼育展示生物をモチーフにオリジナル商品をカワセミ館で開発販売し、収入確保に努めた。

売上額 9,328,950円

（令和5年度実績9,662,190円 前年度比96.6%）

2 レストランの運営

(1) レストランアクアクロス

数が多く資源量の安定した魚介類を食べる運動「HAPPY OCEANS」に取り組み、オリジナルメニューの提供や、運動の趣旨及び各魚種の資源量等を記載したリーフレットの提供を行った。

売上額 70,696,650円

（令和5年度年度実績65,351,410円 前年度比108.2%）

(2) 露店 The Roten Café Breeze

南テラスにて軽食を提供した。

委託料収入 2,487,324円

（令和5年度実績2,315,853円 前年度比 107.4%）

(3) 寿司処 潮目の海 HAPPY OCEANS

資源の持続的な利用をテーマに大水槽前で寿司を提供した。

委託料収入 1,238,884円

（令和5年度実績1,122,529円 前年度比110.4%）

(4) キッチンカー

ゴールデンウィークなどの繁忙期にお祭り広場で軽食を提供した。

委託料収入 1,804,382円

(令和5年度実績1,246,907円 前年度比144.7%)

3 イブニングイベント事業

財団が推進するハッピーオーシャンズの理念に基づき、会食等を通してその食材である魚介類等に関する認識を深め、魚食の啓発を行うとともに、会員相互の情報交換と親睦を図ることを目的として、「肴を旨く食べる会」を開催した。

(年3回開催 参加者数計91人)

IV 事業報告の附属明細書

令和6年事業年度においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成していません。